

1. 件名：3号機 PCV 取水設備設置工事に関わる滞留ガスのパージ作業における水素の検出に係る面談

2. 日時：令和4年1月31日（月）15時00分～15時50分

3. 場所：原子力規制庁 6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

星上席技術研究調査官、知見主任安全審査官、高松専門職、高木係長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当3名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、3号機原子炉格納容器（PCV）取水設備設置工事に関わる滞留ガスのパージ作業において、パージ作業前に実施した滞留ガス中の水素、硫化水素及び酸素の濃度測定並びにガス採取に係る概要や実施方法等の説明があった。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を伝えた。
 - 滞留ガスを測定・採取した際のファンネル及び接続配管（滞留ガスの存在箇所
の配管等を含む）の概略寸法・容積、構造等の詳細を図で示すとともに、具体的
な測定・採取手順を説明すること。
 - 滞留ガスの水素濃度等の測定に用いた機器について、測定原理、検知範囲等の
仕様を具体的に示すこと。

6. その他

資料なし

以上